

---

# ワスレナグサ

要徹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ワスレナグサ

### 【Nコード】

N8761L

### 【作者名】

要徹

### 【あらすじ】

「君は何かを忘れている」

私は勿忘草という花だ。

今日はわざわざ私のお話を聞きにきてくれてありがとう。感謝するよ。

さて、私のこの名前だけ聞けば、君たちは私のことを痴呆だとか、健忘症の象徴なんかだと思うだろうね。けれども勘違いしてもらっちゃあ困るよ。君たちが思い描くイメージとは真逆の、ロマンあふれる名前の由来が私にはあるんだよ。

今日はそれを話してやろうと思って、君たちを呼んだんだ。

ごほん……。

はるか昔、ヨーロッパのドナウ川でルドルフとベルタというカップルが仲睦まじく散歩を楽しんでいたそうだよ。可愛い女性ベルタは、ドナウ川のほとりに青く、美しく咲く私をひどく欲しかったんだ。

彼女はルドルフにあの可憐な花を取って来てくれと頼んだ。ルドルフは私を摘み取ろうと、岸へ下りていき、私の茎を手折った。その時だった。

ルドルフは足を滑らせてドナウ川の急流に飲み込まれてしまったんだ。当然私も一緒だったよ。あの時は本当に死ぬかと思ったよ。でもね、ルドルフは最後の力を振り絞って私をベルタの元へと投げたんだ。そしてその時に、

「私を忘れないで！」

と云ったんだ。

ドナウ川に恋人を奪われたベルタは、私をルドルフの墓に捧げ、彼の言い残した言葉を私に名前として与えたんだ。それが「Forget Me Not（私を忘れないで）」つまり、「勿忘草」だったんだ。どうだい、ロマンチックな話だろう？

私はもう長いことこの世界に根をはっているが、この話を一度た

りとも忘れたことがないんだ。だってそうだろ？ 忘れたくつたって忘れられないよ。これだけ悲しみとロマンがある話なんだから。忘れる奴は相当な薄情者だと思うね。

君たちも、私のこの話を忘れてはいけないよ？ 私ですら完全に暗記している話なんだから、君たちが忘れるわけがないよね。うん、そう言ってもらえるとありがたいね。話した甲斐があつたっていうものだよ。

私の名前の由来は他にもあるらしいけども、まあここでは関係のない話だから割愛させてもらうよ。ご静聴ありがとう。  
ところで

私の名前は何というんだっけ？

（後書き）

最近、どうも物忘れがひどいです。

折角小説のネタを思いついても、しばらくするとスカラカン。

まったく、困ったものです。

脳トレでもやってみようかしら。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8761/>

---

ワスレナグサ

2010年10月9日02時28分発行